



# さくら 2007 秋

発行  
社会福祉法人 東桜会  
第 17 号

〒420-0962  
静岡市葵区東 527 番地の 1  
特別養護老人ホーム 麻機園  
TEL 054(247)8739  
FAX 054(247)8640

## 9月15日敬老会を行いました

### 麻機園

今年のご長寿は、101歳の内山きぬゑさん、続いて100歳の川村みやさん、白寿の後藤金作さん、篠塚豊作さん、曾根つなさん。皆さんとてもお元気です。

当日は朝からお化粧をしたり、正装に着替えたり、慌ただしい一日の始まりとなりましたが、第一部の式典が始まると、皆さん背筋をピンと伸ばして来賓の方々の話に耳を傾けていました。第二部の新人職員によるアトラクションでは、静まる会場で緊張している職員に向かって、入所者から「頑張れ～」と声援が送られ、一瞬にして和やかな雰囲気になりました。また、輪踊り『花火音頭』では、普段ジャージ姿の職員が浴衣に着替えて踊り、舞台が華やかになりました。そして、大勢のご家族に輪踊りに参加していただき、入所者、ご家族、職員がひとつになって、皆さまの笑顔が咲き揃う大きな輪が出来ました。

麻機園 寮母 小松 忍



### ケアハウス桜花



そして第2部は、日吉会様に民謡をご披露いただきました。花笠音頭に炭鉾節、皆さまご存じの曲ばかりで、歌詞カード片手に手拍子しながら唄っていました。また、桜花民謡クラブのメンバーも参加して黒田節を熱唱し、自慢ののどを披露してくださいました。

第3部は、おまたせの昼食会。職員も一緒に食事をして皆さまとゆっくりとお話することができ、笑顔の一日となりました。

翌日には、「昨日はご苦労さん」と言ってくださり、1年最大のイベントは今年も無事終わりました。

ケアハウス桜花 寮母 佐藤勝洋

ケアハウス桜花では、37名の敬老対象者の方々がおられ、敬老会が行われました。

お化粧をされ、華やかな衣装をお召しになり、皆さま笑顔で受付にいらっしゃいました。式典が始まると、姿勢良く来賓の方々の言葉に耳を傾け、式典後には皆さま揃って、記念撮影を行いました。



# こんにちは主任看護師です

主任看護師 松村由美子



私が麻機園で働き始めてから4年半が経ちます。  
現在、麻機園の入所者は60歳から101歳の80名。平均年齢は85歳。  
明治生まれの方々8人を含め、皆さまお元気です。

入社当時に比べ最近では、1対1の介護の場面が多くなり、また、基礎疾患を持ち、常に専門医の受診が欠かせない方も増えているように思います。

お年寄りには、1年でも1歳以上歳を取ると考えても良いくらいいつまでも同じ状態ではられません。急に状態が不安定になったり、急に体調が変化したりします。私達は、日々その小さな変化を見逃さないように頑張っています。

介護報酬や制度の改定があり、機能訓練や経口維持等、看護師が関わらなければならない分野が増え、入所者とゆっくり話す時間も減ったように感じています。家族や、今までの生活から離れ、寂しい気持ちで過ごすことがないよう、ひとりでも多くの方が元気で麻機園での生活が楽しめるよう他部署と協力しながらサポートして行きたいと思っています。

## ケアハウスってどんなところ？

ケアハウスとは、

お食事とお風呂を提供する高齢者向けの  
マンションだとお考え下さい。

もっと詳しくお聞きになりたい方は

こういった方が入居できますか？

60歳以上で、お食事やお風呂の仕度が大変になってきた方や、一人暮らしが不安になってきた方が入居できます。

まずはお電話、ファックス、メールなどで  
お気軽にお問い合わせください。施設見学、  
体験入居も随時受け付けております。



電話 **054-247-6663**

FAX **054-247-6671**

<http://www.sakura.or.jp/> [ouka@sakura.or.jp](mailto:ouka@sakura.or.jp)

人生の大切さ

佐々木陽子

人にはそれぞれ人生があります。嬉しかったこと、悲しかったこと、苦労したこと、その全てが今に至る大切な出来事だと思えます。麻機園の入所者の方々は、どんな人生を歩んで来たのだろう・・・それを知ることその方への理解も深まるのではないかと考えます。

よく「歳を取ると子供に戻る」と言われますが、私は一概にそのようには言えないと思います。認知症の方にも今まで生きてきた「人生」があり、何もかもを忘れてしまつたのではないのです。好きだったこと、習慣にしていたことは覚えていたという方は、糸を結んだり、布を縫ったりする仕事をし、また、ほんとの方はタオルなどをきれいにたたんで下さいます。

私は時々1歳の娘を連れてくるのですが、その時はみなさんの表情が変わります。とても上手にあやしてくれ、泣かれても動じません。「私は男の子しかいないから、女の子は可愛くていいわね」と笑って、お菓子をくれる方もいらつします。そういう光景に「人生の先輩」なんだなあと思うます。

私達は、入所してからのその方ばかりを見がちになります。でもこれからは、その方が今まで経験してきた全てのことを尊重し、大切にしていくと思つていきます。そして私も一度しかない人生、悔いの残らないように様々なことにチャレンジしていきたいです。

デイサービスを**無料**で1日体験できます。ご利用希望の方は**209-2619**までお電話ください。